

NTT西日本Gのめざすスマートシティ戦略

社会課題の解決に向けたNTTグループの取組み

農業・水産業からインフラ・製造、そしてエネルギーといった成長領域において、テクノロジーを活用して事業を展開し、社会課題の解決を通じたビジネス創出をめざす



自治体様との『共創』の取組み

※2023年時点

西日本で66の自治体様とICT連携協定を締結し、
各分野における地域の活性化及び住民サービス向上に向けて取組みを推進中

九州・沖縄地方

福岡	嘉麻市	宮崎	宮崎市
	糸島市		小林市
	東峰村		延岡市
	新宮町		高鍋町
	小郡市		
佐賀	嬉野市	鹿児島	曾於市
長崎	長崎市		南さつま市
	平戸市		十島村
	東彼杵町		肝付町
熊本	八代市	沖縄	南城市
	合志市		宜野湾市
	長洲町		宜野座村
	金武町		
	名護市		

北陸地方

石川	能登町
福井	越前市
	福井市
	大野市

東海地方

静岡	牧之原市	愛知	瀬戸市
	焼津市		岡崎市
	掛川市		豊田市
岐阜	中津川市		大府市
	郡上市		蒲都市
	大垣市	尾鷲市	
三重			

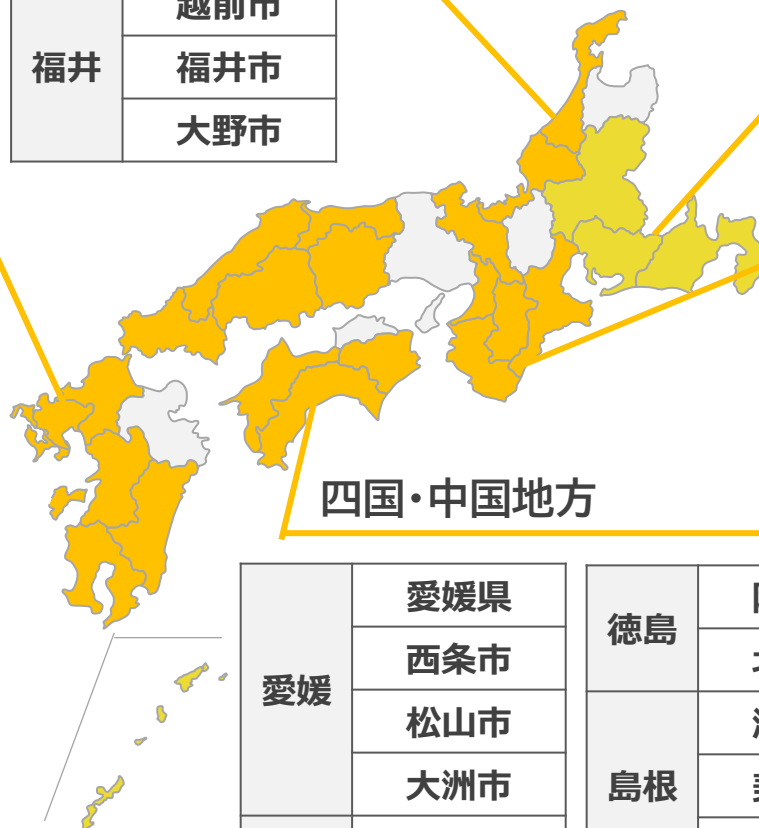
近畿地方

大阪	大阪府※	京都	和束町
	堺市	和歌山	紀美野町
	吹田市	奈良	天理市
	豊中市		

※大阪府様とは、スマートシティ推進に関する事業連携協定を締結

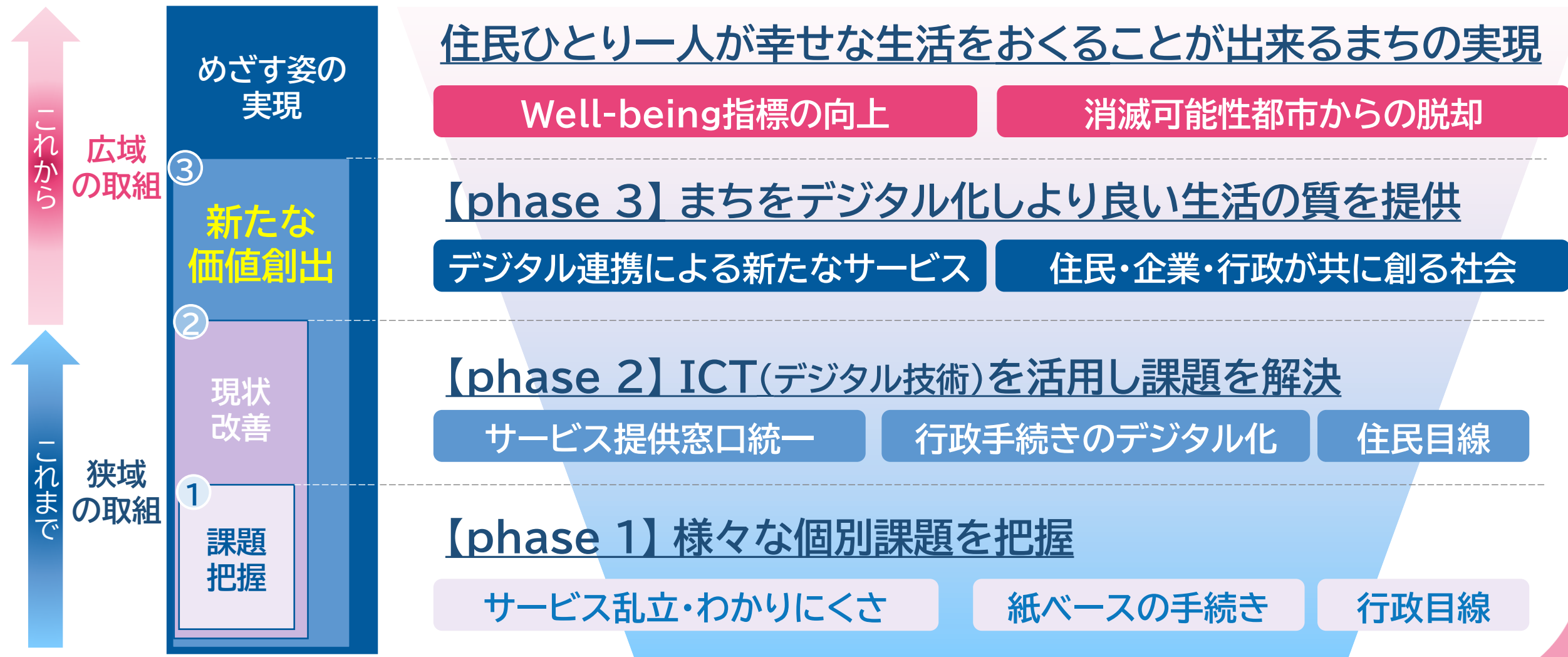
四国・中国地方

愛媛	愛媛県	徳島	阿南市	広島	三原市	岡山	真庭市
	西条市		北島町		安芸太田町		津山市
	松山市		海士町		廿日市市	山口県	
	大洲市	美郷町	広島市		山口市		
	高知	土佐町	島根	奥出雲町			下関市



めざす姿に向けたアプローチ

ローカルな種々の課題をICTで解決しつつ、
今後はより良いサービスを持続的かつ包含的に提供できるまち(スマートシティ)づくりをめざす



【参考】デジタル田園国家都市構想

各地域のデジタル実装への取り組みに対する目標・施策が打ち出されており、
(岸田首相政権下では)各地域がめざすべきイメージ像として、スマートシティ化を推進

石破首相の所信表明演説のポイント

ルールを「守る」

- ◆政治資金規正法を徹底的に順守
- ◆さらに(政治資金の)透明性を高める努力

日本を「守る」

- ◆自衛官の処遇改善へ関係閣僚会議の設置
- ◆官民で「幸福度・満足度」指標を策定
- ◆能動的サイバー防御の導入検討を加速

国民を「守る」

- ◆最低賃金を2020年代に全国平均1500円に
- ◆経済対策を早急に策定
- ◆防災庁の設置へ準備を進める

地方を「守る」

- ◆地方創生の交付金を当初予算ベースで倍増
- ◆今後10年間の集中的な基本構想策定

若者・女性の機会を「守る」

- ◆何度でも必要な学びが得られる体制整備
- ◆女性参画の議論を主導して制度改革

10/4 日本経済新聞より抜粋



データをつなぐ基盤(都市OS)

都市OSは地域の枠を越えたサービス連携等を実現するために、3つの特徴を持っており自由なサービスやデータの連携・流通を可能にする

都市OSとは

地域の枠を越えたサービス連携や各都市における成果を横展開するための仕組みであり大きく分けると3つの特徴があると言える

相互運用 (つながる)

- 都市内・都市間のサービス連携や、各都市における成果の横展開を可能にする仕組み

データ流通 (ながれる)

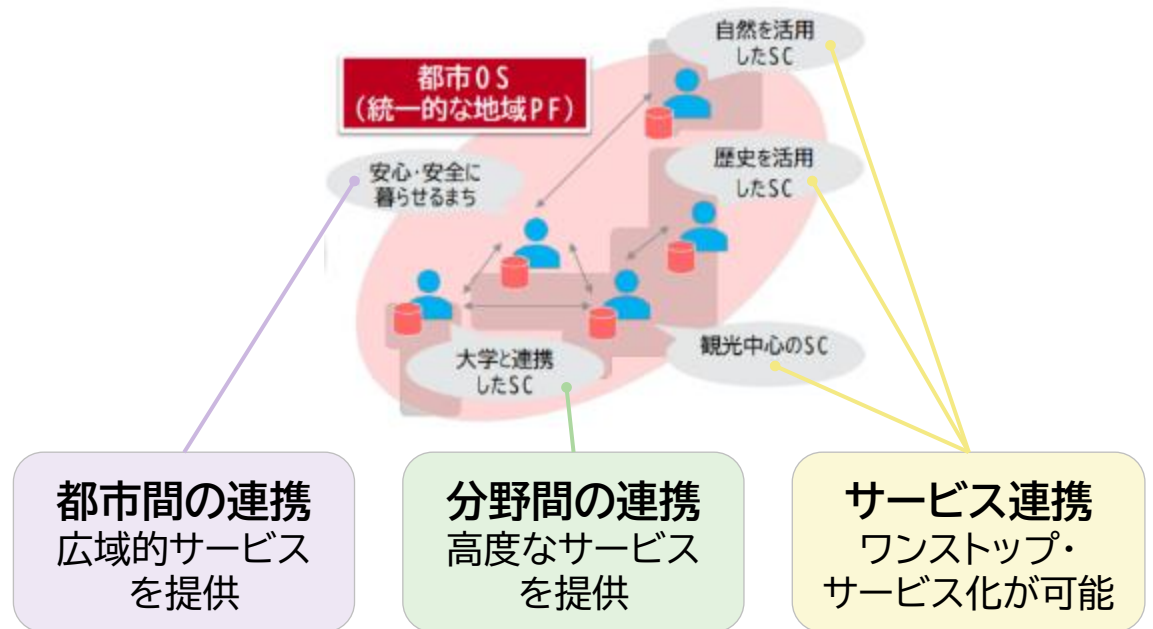
- 地域内外の様々なデータを仲介して連携させる仕組み

拡張容易 (つづけられる)

- 都市OSで利用する機能やアーキテクチャの更新に合わせて拡張を容易にする仕組み

都市OSがあることで生まれるメリット

自由なサービスやデータの連携・流通が可能になる地域の資産や特徴を活かしたスマートシティ推進ができる



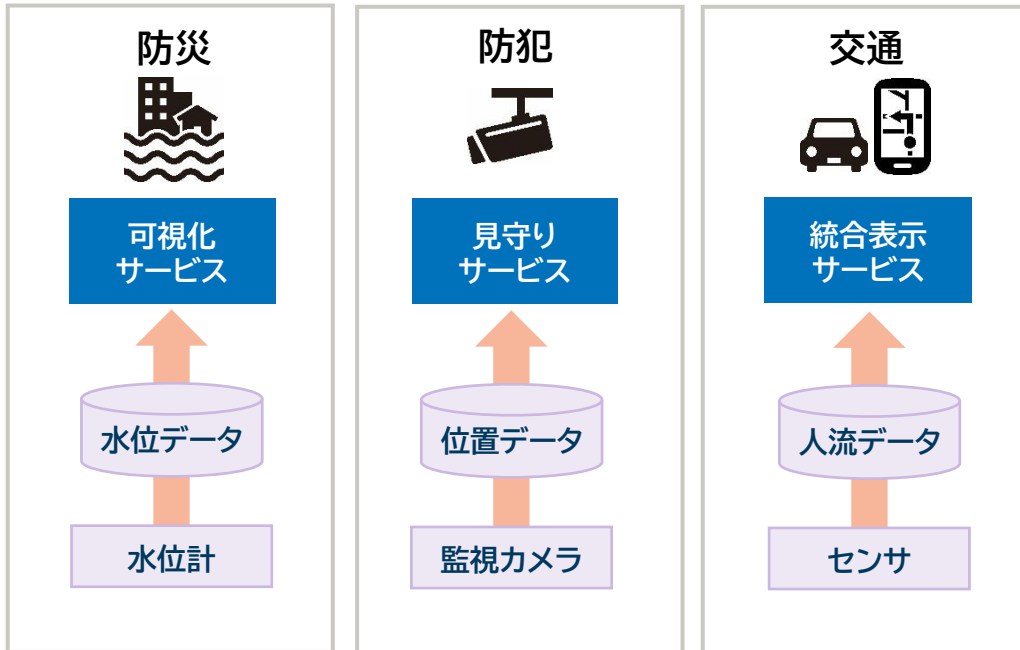
データ連携基盤のメリット

個別のサービス・プラットフォームでは連携ができず非効率であるため、都市OSの構築により、より価値のある新サービスを低コストかつ容易に提供可能

【before】サイロ型

分野間の縦割りサービス
データやPFを個別に収集・構築
システム間連携は時間・コスト面で非効率

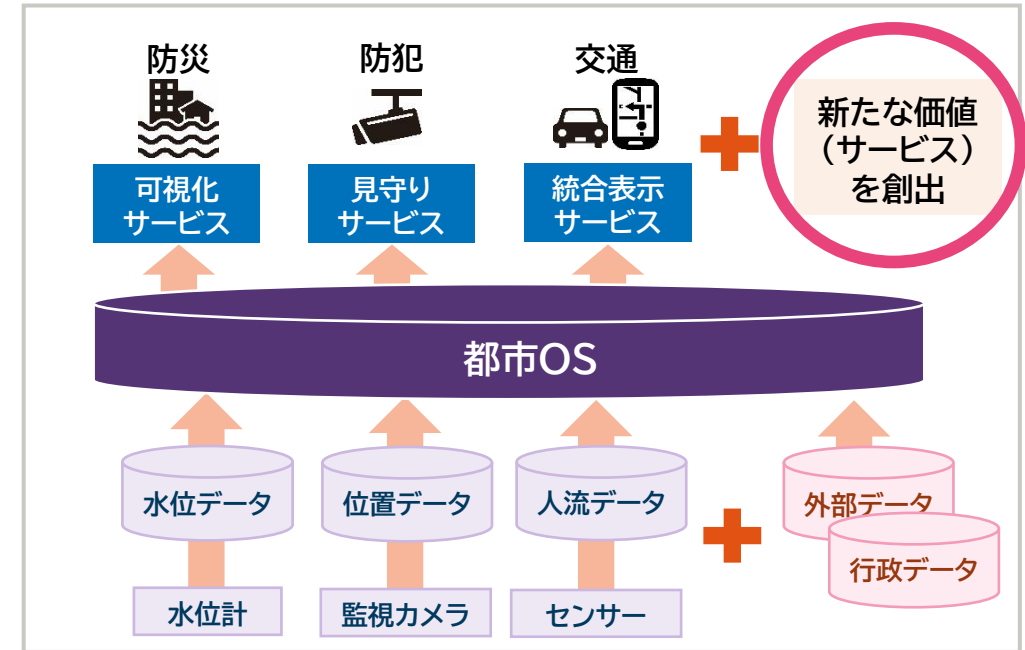
→時間・開発コストの面で投資対効果が出ない



【after】共通基盤型

都市OSが各システムの共通機能を統一
(データ仲介、ID認証等)

→より便利なサービスを低コストで実現可能
→分野間・サービス間・都市間の連携が比較的容易に可能



【参考】オープンデータ系／パーソナルデータ系

データの分野間連携によるサービスは、オープンデータ系とパーソナルデータ系の2つに分類され、地域の特徴に応じてどちらかのアプローチで都市OSを構築、運用している

オープンデータ系

オープンデータなど各種データを活用して
ダッシュボードや公開APIを利用しサービスを提供

- ・ ダッシュボードによる街の情報の見える化



- ・ 官民連携による住民サービスの提供



- ・ データ活用による地域政策の決定



パーソナルデータ系

ユーザポータルを基軸として
ID連携やオプトイン機能を利用しサービスを提供

- ・ 柔軟なサービス連携による市民の生活利便性向上



- ・ ID認証・認可によるサービスのワンストップ利用



- ・ オプトイン管理によるサービス間のパーソナル連携

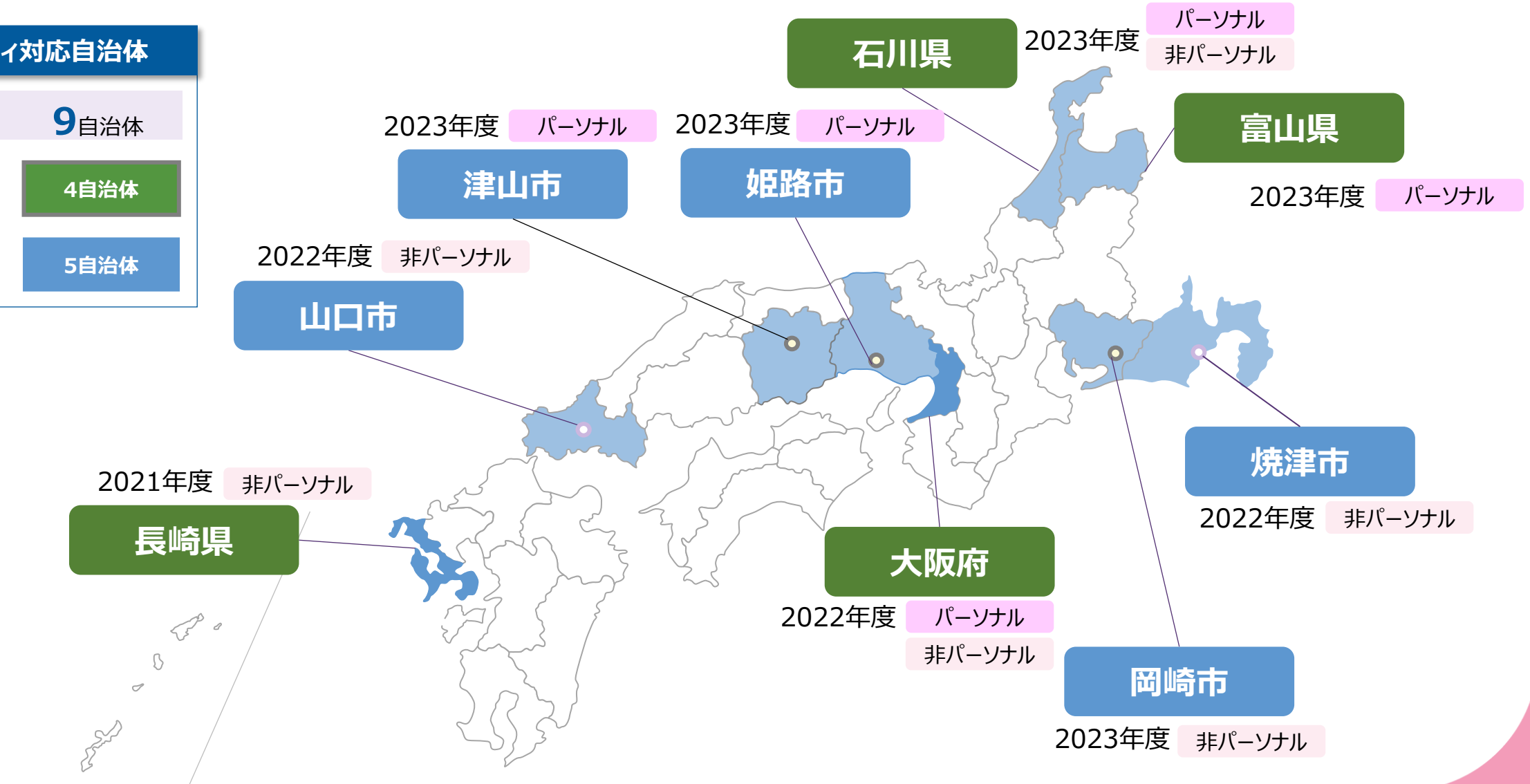


地域の特徴や方向性を実現しやすいアプローチで都市OSを整備し
近年ではパーソナルなデータを活用してサービスを拡充させる傾向が増加している

都市OS 導入支援状況

4つの広域自治体、5つの基礎自治体において、データ連携基盤を提供中

スマートシティ対応自治体	
対応総数	9自治体
広域自治体	4自治体
基礎自治体	5自治体



【参考】都市OS 導入状況概要

↓ 補助金活用状況をもとに独自に調査した結果であり、内容の完全性を保証するものではありません

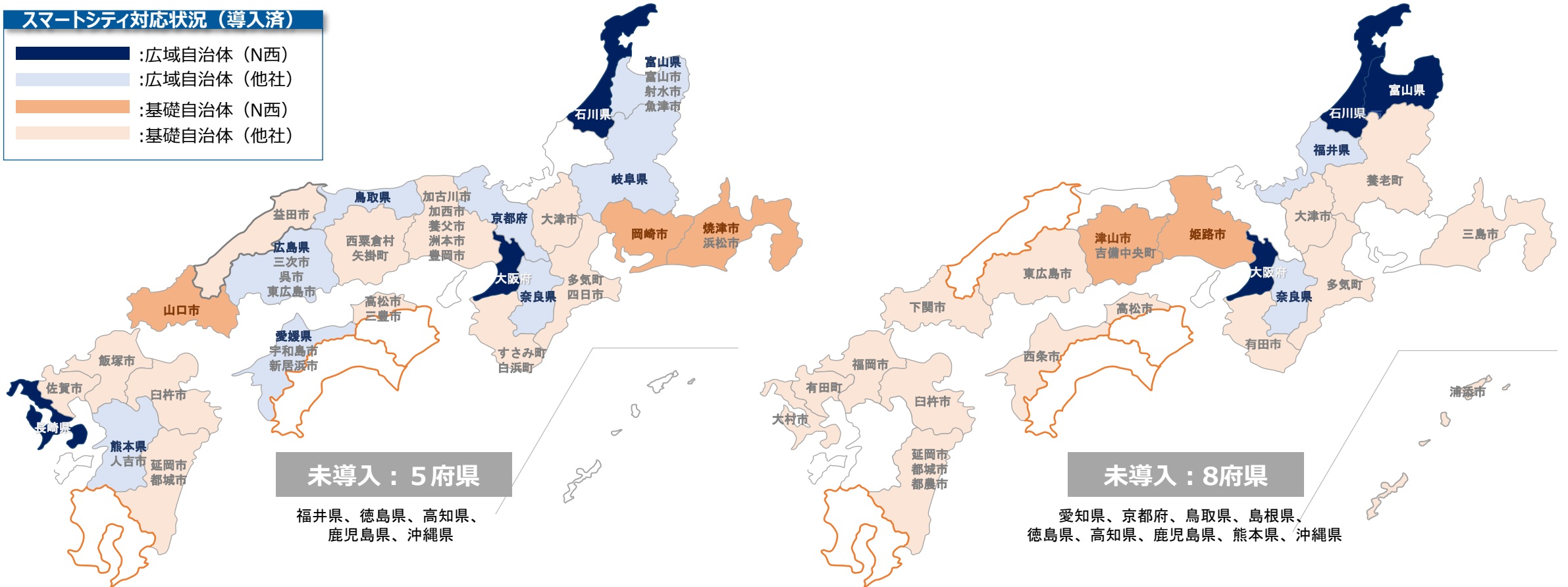
西日本30府県において、基礎自治体への導入状況を踏まえると『導入フェーズ(初期)』はほぼ終わり、
今後はサービス(ユースケース)拡充やコスト／運用面における改善フェーズに移行すると認識

非パーソナル

パーソナル

スマートシティ対応状況（導入済）

- : 広域自治体 (N西)
- : 広域自治体 (他社)
- : 基礎自治体 (N西)
- : 基礎自治体 (他社)



スマートシティ推進の現在地 (個人的な認識に基づく課題感)



■大きなサイクルが動き始めたところ

- ・スマートシティ化を標榜する先行自治体では戦略含め基盤等の一定の物理的な環境整備が整ってきている状況
- ・サイクル一周目(途中)として、用途特化型サービス(交通ダッシュボード等)を構築して⑥データ分析・可視化に取り組みはじめている段階

■⑦住民満足度(効果)を測る手法が必要

- ・運用されているサービスが**住民の満足度**にどのように貢献できているか**定量的に効果を測定する手段確立が必要**(well-being指標測定手法等)
- ・初期段階からファイナンス面における費用対効果(経済効果やサービス収支)を見るのが適切かは検討が必要。中期的なまちづくりに向けて着実にサイクルをまわしていくのが肝要

■ユースケース(サービス)のデザイン

- ・民間参入を促進し、**データ連携のメリット(+基盤運営者としてのメリット)**を活用したサービスをデザイン
- ・用途特化をより深化させるサービスや**用途(分野)の掛け合わせ**で新たなサービスをデザイン
- ・**アジャイル的な発想**でトライ&エラーしサイクルを小さくしてスピード感を加速させることも必要と認識

事業概要（めざす世界観等）

デジタル田園都市国家構想

デジタル田園都市国家構想の取組イメージ全体像



デジタル田園都市国家構想 | デジタル庁 (digital.go.jp)

デジタル庁では、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局、内閣府地方創生推進室との連携の下、デジタル田園都市国家構想を進めています。**デジタル田園都市国家構想とは、「心ゆたかな暮らし」(Well-Being)と「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)を実現していく構想です。**

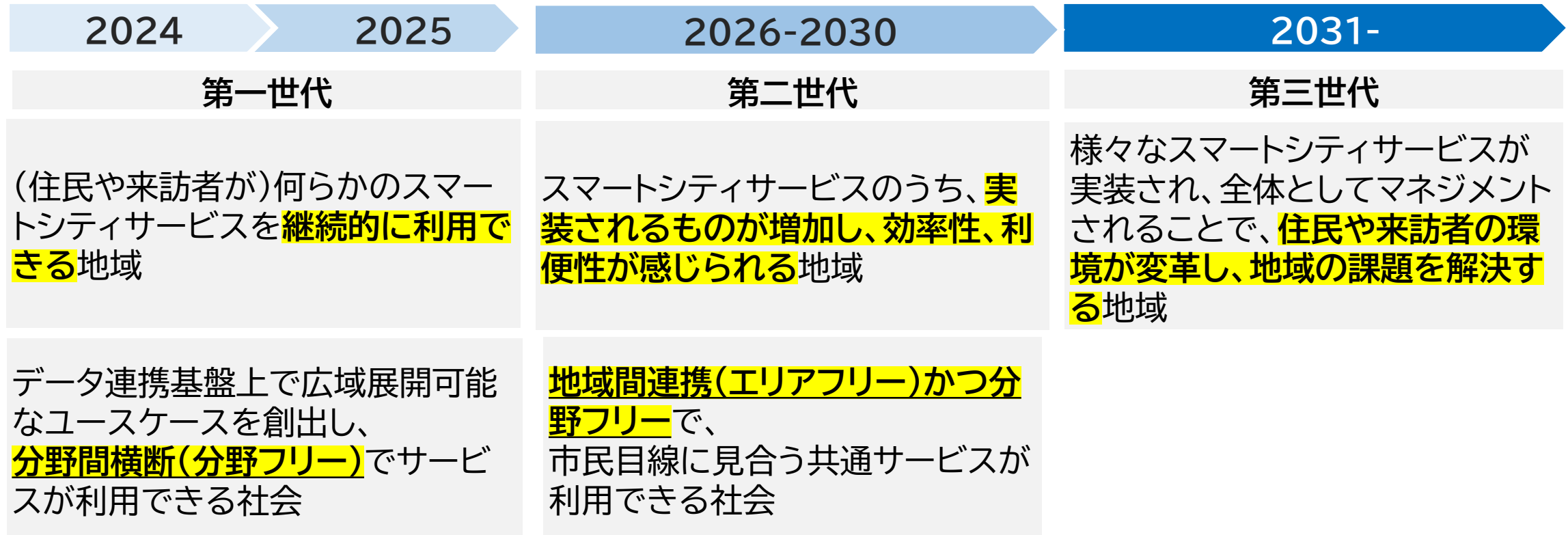


NTTBSが「データ連携基盤」を中心にめざすスマートシティとは

Vision

デジタルの便利さを実感できるまちづくりを通じて、
住民や来訪者が「分野フリー」「エリアフリー」で地域課題を解決できる社会

スマートシティ施策のロードマップ(※2024年3月29日_内閣府科学技術・イノベーション推進事務局より参照)



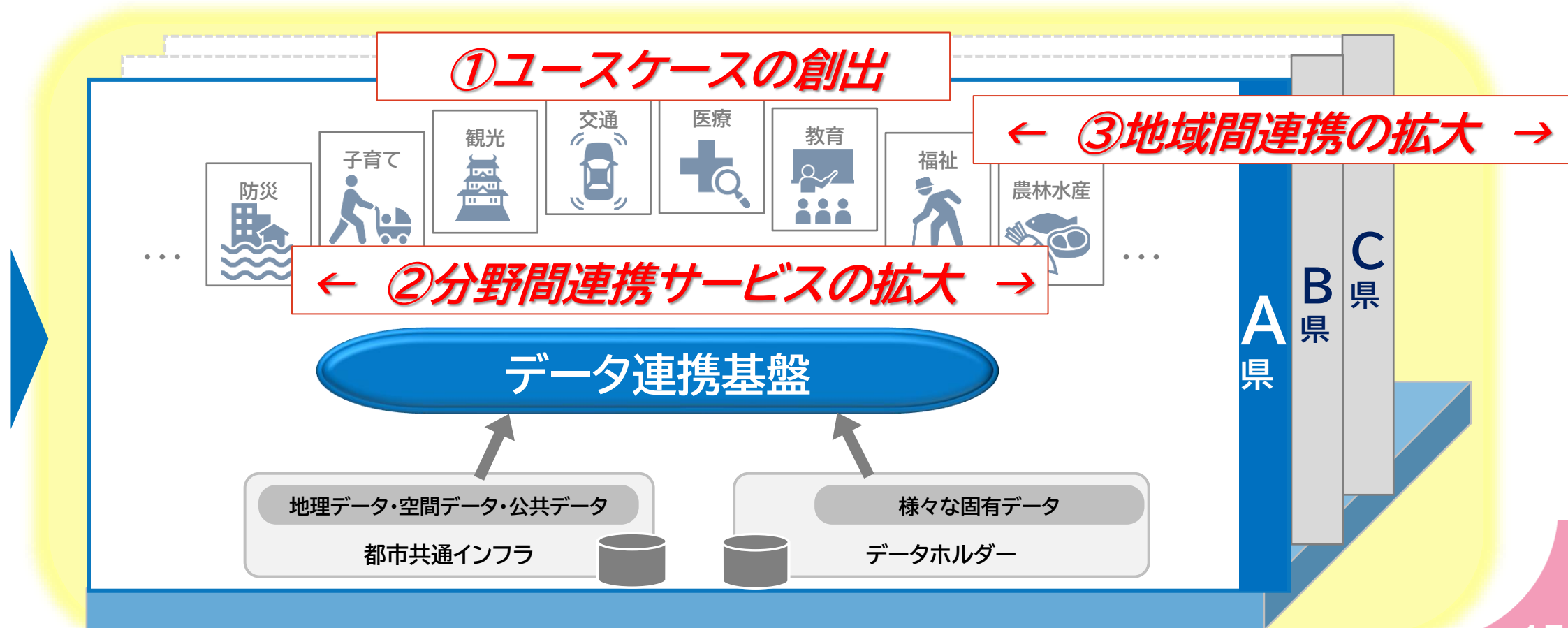
NTTBSが「データ連携基盤」を中心にめざすスマートシティとは

Vision

デジタルの便利さを実感できるまちづくりを通じて、
住民や来訪者が「分野フリー」「エリアフリー」で地域課題を解決できる社会

課題

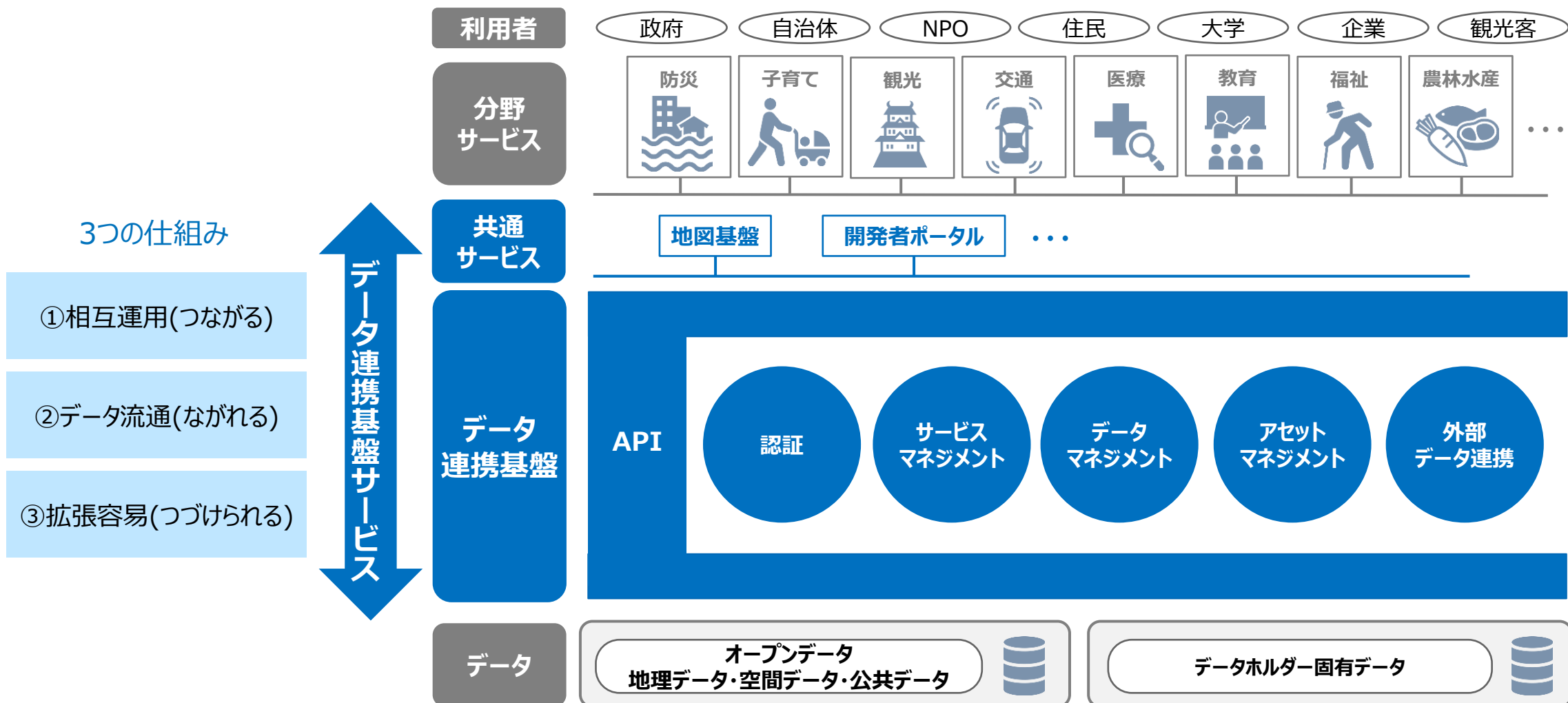
- ① 各分野におけるユースケースの創出
- ② 分野間連携した市民サービスの実現
- ③ 地域間連携（自治体間連携）の実現



提供アセット『データ連携基盤サービス』の説明

アセットの紹介①: データ連携基盤サービスの概要

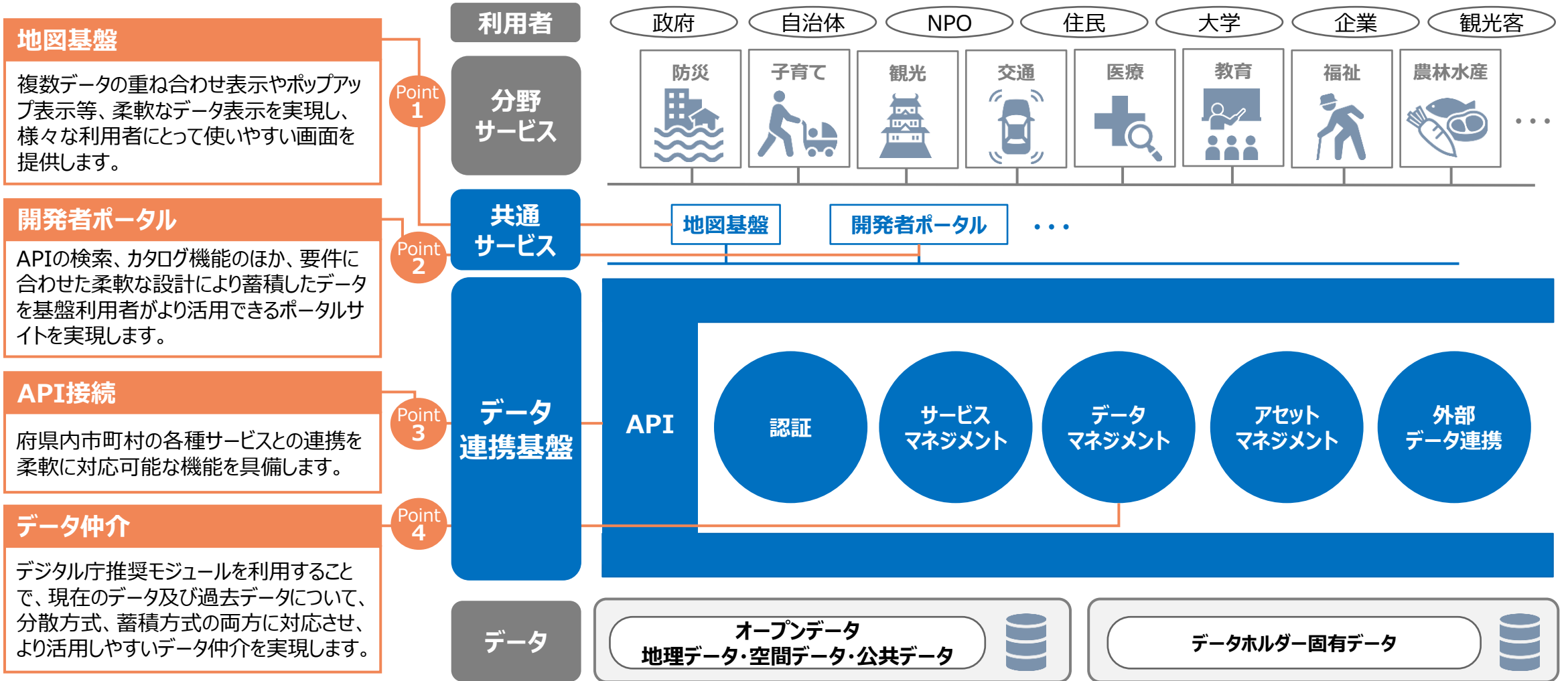
スマートシティの実現に向けて地域の枠を越えたサービス・データ連携等を実現します



※非パーソナルデータのための活用を前提として設計

アセットの紹介①: データ連携基盤サービスの概要

スマートシティの実現に向けて地域の枠を越えたサービス・データ連携等を実現します



地図基盤
複数データの重ね合わせ表示やポップアップ表示等、柔軟なデータ表示を実現し、様々な利用者にとって使いやすい画面を提供します。

Point 1

開発者ポータル
APIの検索、カタログ機能のほか、要件に合わせた柔軟な設計により蓄積したデータを基盤利用者がより活用できるポータルサイトを実現します。

Point 2

API接続
府県内市町村の各種サービスとの連携を柔軟に対応可能な機能を具備します。

Point 3

データ仲介
デジタル庁推奨モジュールを利用することで、現在のデータ及び過去データについて、分散方式、蓄積方式の両方に対応させ、より活用しやすいデータ仲介を実現します。

Point 4

※非パーソナルデータのみを活用を前提として設計

アセットの紹介②:データ連携基盤サービスの特長

広域でのデータ・サービス連携実現をめざし、以下3つの特長を保有しています

① デジタル庁推奨モジュールを採用！



本サービスは、デジタル庁の推奨モジュールを採用しており、デジタル庁の推奨モジュールを採用したデータ連携基盤間のデータ連携が可能となります。

② 柔軟な機能拡張が可能！



パブリッククラウドの活用等により、将来的な機能拡張、性能向上についてもモジュール追加等により柔軟に対応が可能です。

③ 広域自治体を中心とした都道府県下自治体共同利用モデルを実現！



地方公共団体毎に単独でデータ連携基盤を作り上げる必要がなく、県下自治体での共同利用により、低コストな構築・運用を実現することができます。

募集テーマについて

募集テーマについて

TARGET (顧客・領域)

広域自治体

①子育て支援

②高齢者見守り

③地方交通

※ターゲット領域は、広域データ連携基盤 (ORDEN) を運用している大阪府からのヒアリングも参考に設定しました

ISSUE (課題)

必要最小限の投資で最大限の住民への価値提供ができる「スマートシティに係るサービス」の導入

安心して妊娠・出産できる仕組みの充実や子供の体調不良等における家庭と仕事の両立等

高齢者が家族や地域と繋がっていける環境整備や高齢者の体調の把握、過疎地域における見守り人材の不足等

タクシー等の移動手段の手配が困難であることや、高齢化地域内での相乗りや物品調達等

VALUE (提供価値)

NTT西日本グループが保有するアセットと応募企業のデータ連携基盤と親和性のあるプロダクト/サービス等を組み合わせることで、「自治体や事業者、個人等が保有するデータの利活用」や「地域の課題解決」に資する新たな価値を創出する

ASSET (利点)

NTT西日本グループ

- ・データ連携基盤サービス (大阪広域データ連携基盤 (ORDEN) へも搭載予定)
- ・西日本30府県の営業拠点
- ・NTT西日本グループ営業担当者向けの定期的な研修
- ・サービスやソリューションの開発支援 (実証実験予算等)

応募企業 (スタートアップ)

- ・連携アイデア
- ・プロダクト/サービス

※顧客・業界課題を捉えたユニークなビジネスアイデアやサービスを広く募集します。

子育て分野におけるイメージ詳細

だれもが安心して子どもを産み育てることができる社会の実現に向けて
データ連携基盤を活用したサービス連携パートナーを募集します！

ターゲット例

子育て世代（幼保～小学校）、子育て支援をする自治体等

課題例

妊娠、出産から育児まで、子育てに携わる親や自治体が抱える課題

- ・安心して妊娠・出産できる仕組みの充実
 - ・子どもの体調不良等における家庭と仕事の両立
 - ・自治体における家庭環境の網羅的把握
- etc

課題解決例
(サービスイメージ)

オンライン申請など、届出
情報の標準化による手続
きの簡素化



AIアバターを活用した保
護者との面談等
(家庭状況の把握)



地域横断的な子供見守り
サービスの提供



地方交通分野におけるイメージ詳細

日常生活において誰もが移動に伴う不自由を感じることはない社会の実現に向けて
データ連携基盤を活用したサービス連携パートナーを募集します！

ターゲット例

地方に住む高齢者や、地方で交通サービスを提供する事業者等

課題例

徒歩圏内に病院や生活用品を購入する生活利便施設が無い高齢者が抱える課題

- ・タクシー等の移動手段の手配が困難であること
- ・高齢化地域内での相乗りや物品調達

地方で交通サービスを提供する事業者が抱える課題

- ・交通サービスの運営効率の向上、収益性の低下
- etc

課題解決例
(サービスイメージ)

過疎地域と病院を紐づけた
集団通院サービスの提供



過疎地域の遊休施設などに簡易な販売場を設け物
資を届けるサービスの提供

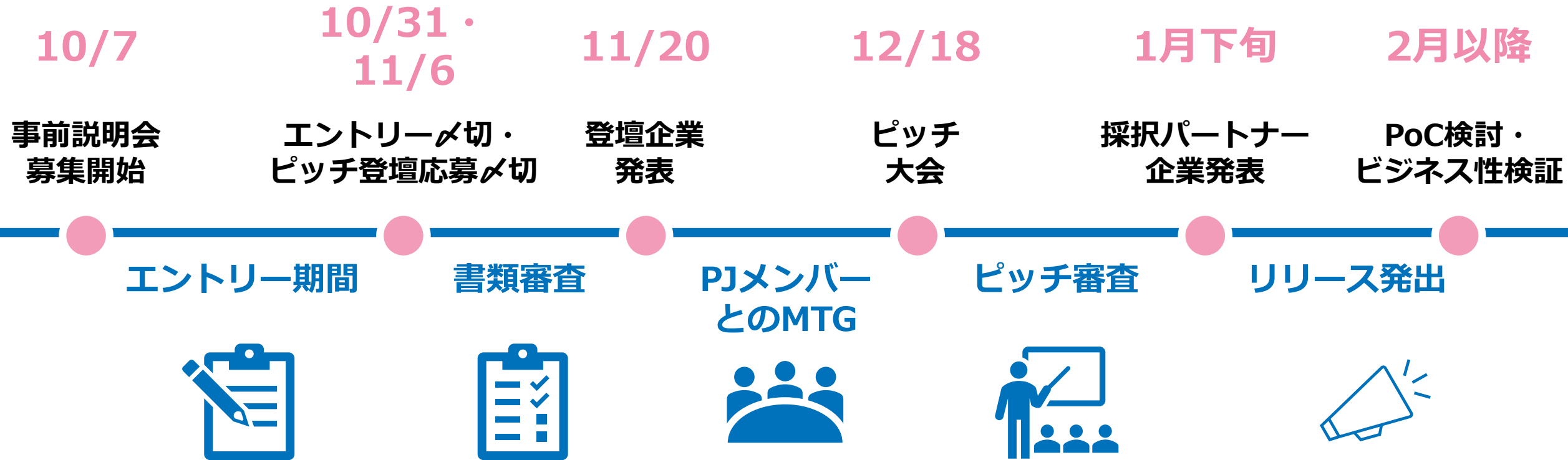


交通需要を可視化、分析
できるサービスの提供



スケジュール

スケジュール



テーマオーナーからのメッセージ&チーム写真

データ連携基盤サービス 企画メンバーからのメッセージ

住民の「便利で快適に働ける・安心して豊かに暮らせる社会」の実現をめざして
我々と一緒に取り組みましょう！みなさまのご応募お待ちしております！





説明会資料ならびに、この説明会の動画はQUINTBRIDGEのHPへの掲載を予定しています。

ご質問は、下記メールアドレスより承りますので、お気軽にお問い合わせください！

メールアドレス: business-matchup-ml@west.ntt.co.jp

